

～昨年10月に限定販売し、予想を大幅に上回る売れ行きにより5日で完売～
「マルーンいろ」が入った「**Hankyu Densha**」クーピーペンシル12色セット
お客さまのご要望にお応えして再販売します！

阪急電鉄では、サクラクレパスとコラボレーションしたマルーンいろが入った「Hankyu Densha」クーピーペンシル12色セットを1月22日（月）から再販売します。

同クーピーペンシルセットは、昨年10月に限定販売したところ、大変ご好評をいただき、当初の予想を大幅に上回る売れ行きで販売から5日で完売し、その後も多くのお客さまから再販売のご要望をいただいております。

そこで、前回お買い求めいただけなかったお客さまをはじめ、春に入園・入学を控えたお子さまや阪急電車ファンの皆さまの熱いご要望にお応えして、再販売することとしました。

概要は次のとおりです。



※ クーピー、クーピーペンシルはサクラクレパスの登録商標です。

「Hankyu Densha」クーピーペンシルについて

この商品は、当社監修のもとサクラクレパスと共同で開発したもので、阪急電車の車体色として親しまれているマルーンを再現した“マルーンいろ”のオリジナルクーピーペンシルと、阪急電車を描きやすいように“パールブルー”、“あいいろ”、“おうどいろ”や“ぎんいろ”を含めた12色セットとなっています。

さらにパッケージも、おなじみの幾何学模様「Hankyu Densha」シリーズのイラストをアレンジしたオリジナルデザインです。

■商品概要について

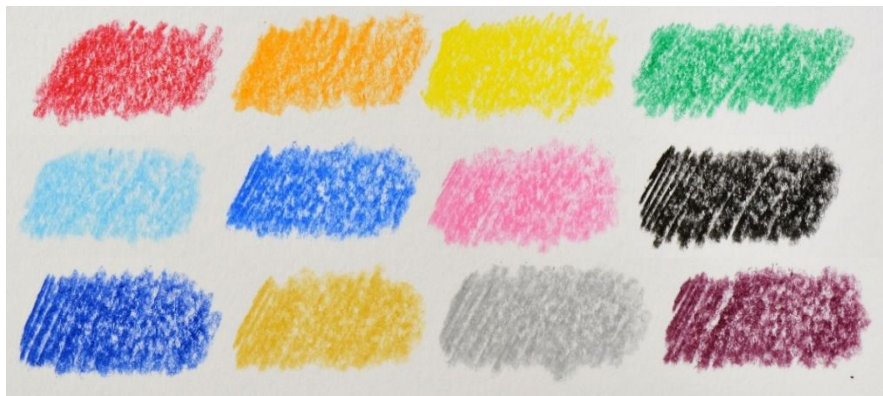
①商品名・価格 「Hankyu Densha」クーピーペンシル12色セット（紙箱入り）・・・990円（税込）



「クーピーペンシル」について

「クーピーペンシル」は、サクラクレパスの描画材の一つで、1973年の販売以来多くの方に親しまれているロングセラー商品です。「クーピー」という名前は、「打つ」という意味があるフランス語の「COUP（クー）」という単語に「Y」をつけて、クーピーと耳にやわらかく響くように工夫された造語です。これまでにない「消しやすさ」と「軸全体が芯」という新機軸で、色鉛筆市場に一撃を加え、色鉛筆分野においてもトップブランドになることを目指して「COUPY」という商品名がつけられました。

②色の内訳 （写真左上段から）あか、だいだいろ、きいろ、みどり、パールブルー、あお、ももいろ、くろ、あいいろ、おうどいろ、ぎんいろ、マルーンいろ



※ クーピーペンシルの基本12色セットは、あか、だいだいろ、きいろ、きみどり、みどり、みずいろ、あお、むらさき、ももいろ、ちゃいろ、くろ、しろとなります。

※ 上記の太文字・下線の色が、基本の12色に代えて、「Hankyu Densha」クーピーペンシル12色セット用にラインナップした色です。

「マルーンいろ」誕生の秘話

阪急電車の車体色は、1910年の創業以来、変わることなく「マルーン」を採用しており、多くのお客様に親しまれています。今回「マルーンいろ」のオリジナルクーピーペンシルの商品化にあたっては、この「マルーン」を再現するため、既存の「ぶどういろ」のクーピーをもとに色の調合を何度も重ね、ようやく「マルーンいろ」が誕生しました。



③再販売日 1月22日(月)から

※ 販売を開始する時間は、各店舗により異なります。

④販売店舗

アズナス	梅田3階店・茶屋町口店・十三店・塚口店・西宮北口店・逆瀬川店・豊中店・石橋店・川西能勢口店・茨木店
アズナスエクスプレス	宝塚店・高槻市店・桂店・千里中央店
アズナスエクスプレス・ヒー	梅田10号店・三宮1号店・正雀2号店・長岡天神1号店・河原町1号店
カラーフィールド	梅田店・西宮北口店・阪急西宮ガーデンズ店・宝塚店・さんちか店・川西店・デュ-阪急山田店
クレデュプレ	梅田店
アドレス	西宮北口店

※ できるだけ多くのお客様にお買い求めいただけるよう、お一人様あたりの購入個数に、制限を設けさせていただくことがあります。

●TOKK*MALL (インターネット通販)

<http://www.tokk-mall.com/>

※ ご購入には会員登録(無料)が必要です。

■「Hankyu Densha」シリーズについて

2016年9月から販売している阪急電車グッズ「Hankyu Densha」シリーズは、阪急電車の車体色として親しまれている“マルーンカラー”を基調にした柔らかくポップなイラストで仕上げ、阪急沿線各地の風景イメージを用いたオリジナルグッズです。「アズナス」や「アズナスエクスプレス」、「カラーフィールド」などで販売しています。



「Hankyu Densha」シリーズコンセプトデザイン

(以上)

【ニュースリリース配布先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、関西レジャー記者クラブ ほか